

趣意書

日本の一般人口の高齢化に伴い、透析患者も年々高齢化が進んでいます。高齢化しているのは血液透析（HD）患者だけでなく、腹膜透析（PD）患者も同様です。PDはHDと比較して血行動態への影響が少なく、残存腎機能を温存でき、定期的な通院回数も少ないことから高齢末期腎不全患者にはより良い選択肢となる可能性があります。さらに、日常生活への影響が少ないため、高齢PD患者は高齢HD患者よりもQOLが高いことが報告されています。しかし、PDは在宅医療であるため、患者自身が治療を行う必要があります。場合によっては家族や医療スタッフの介助（Assisted PD）が必要になります。Assisted PDは高齢化が深刻な本邦において広く実践されていますが、かかりつけ医やコメディカルなどに広く知られていないのが現状です。

2024年5月国際腹膜透析学会（ISPD）はAssisted PDに関するposition paperを公開しました（Oliver MJ, et al. Assisted peritoneal dialysis: Position paper for the ISPD. Perit Dial Int. 2024 May;44(3):160-170.）。この論文では様々な国におけるAssisted PDを紹介し、推奨事項、ベストプラクティスを詳細に分析し、この治療法の実施と管理の実際のおよび臨床的側面を取り上げています。また、この論文はISPD News letterで紹介されただけでなく、ISPDと国際腎臓学会（ISN）の合同ウェビナーでも取り上げられました。そこで、日本腹膜透析医学会の学術委員会で取り組んでいる高齢者対策（高齢者のPD治療）プロジェクトの一環として、Assisted PDについての理解を深めることを目的とし、この論文を和訳し、専門医だけでなく、コメディカルやかかりつけ医にも広く周知したいと考えております。

本プロジェクトを遂行するに当たっては、最大限の経費削減に努めてまいりますが、昨今の経済事情を考えるとそれでも非常に厳しい状況にあります。是非とも貴社のご理解・ご支援・ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。本来ならば、参上し拝眉の上、お願いすべきところではございますが、本プロジェクトに深いご理解を賜りまして、何卒ご支援を賜りたく、謹んでお願い申し上げます。

2024年11月吉日

特定非営利活動法人日本腹膜透析医学会 理事長 水口 潤

学術委員会 高齢者対策プロジェクトリーダー
宮崎正信



**特定非営利活動法人日本腹膜透析医学会
寄付金募集要項**

1. 寄付金の名称

特定非営利活動法人日本腹膜透析医学会寄付金

2. 寄付の使途

Assisted PD 論文翻訳とPD 医療に携わる医療職への周知に充当します。

3. 募集期間

2024年11月21日から2025年3月31日

4. 募集総額

130万円

5. 事業の収支計画

収入	130万円(寄付金)
支出	130万円
1) Assisted PD 和訳制作費	86万円
(翻訳・校正・WEB掲載用データ作成・ ISPDとの交渉等の費用を含む)	
2) 印刷データ作成費・印刷費(1500部)	44万円

6. 情報公開の同意

日本製薬工業協会が策定した「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」および貴社の「透明性に関する指針」に基づき、寄付金の支払先名と支払金額等に関する情報を公開されることに同意します。

7. 寄付金の申込先

(別紙寄付申込書にご記入の上、下記の申込先にお申込みをお願いします。)

〒770-0011 徳島市北佐古一番町6-1

社会医療法人川島会 川島病院 内

特定非営利活動日本腹膜透析医学会

TEL : 088-631-1755 E-mail: office@jspd.jp

日本腹膜透析医学会宛 (E-mail office@jspd.jp)

寄 付 申 込 書

特定非営利活動法人 日本腹膜透析医学会 御中

令和 年 月 日

特定非営利活動法人 日本腹膜透析医学会の事業目的に賛同し、下記の金額を寄付金として申し込みます。

金

円也

法 人 名 :

印

ご 住 所 : 〒

担当者氏名 :

お振り込み予定日 : 令和 年 月 日

寄付申し込み先

特定非営利活動法人 日本腹膜透析医学会事務局 事務局

住所 : 〒770-0011 徳島市北佐古一番町 6-1

社会医療法人川島会 川島病院内

TEL 088-631-1755

E-mail office@jspd.jp